

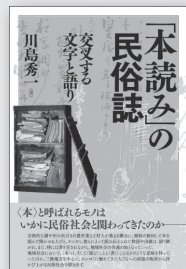
「本読み」の 民俗誌

交叉する文字と語り

川島秀一「著」

〈本〉と呼ばれるモノは
いかに民俗社会と関わってきたのか

地域社会において、〈本〉は、そして〈読む〉こと〈書く〉こととはどのような意味を持つていたのか。三陸地方を中心に、ホンヨミに触れてきた人びとへの直接の取材から浮かび上がる民俗社会を描き出す。



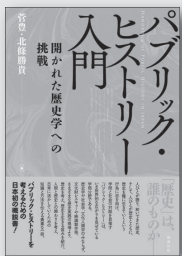
3500 円

パブリック・ヒストリー 入門 開かれた 歴史学への挑戦

菅豊・北條勝貴「編」

「歴史」は、誰のものか――

歴史実践の現場から、歴史を
考え歴史を生きる営みを紹
介。人間と歴史との関わりを考
え、日常に活かしていくための
知識と方法を伝える貴重な一
冊。パブリック・ヒストリーを考
えるための日本初の概説書！



4800 円

渋沢敬三と アチツク・ミューゼウム

加藤幸治「著」

人文学本来のかたちを体現する、人びとの興
味と能力が調和・共鳴し合いながら互いの成
長をはぐくむ共同空間を作り出した渋沢ら
の営為・思想から、文化創造のあり方を探る。

犬からみた人類史 大石高典・近藤社秋・池田光穂「編」

3800 円

最も身近なパートナーである犬と、人はどの
ようにして関係を築いてたのか？ 進化生物
学から、文化人類学、民俗学、考古学、實際
の狩猟現場……様々な角度からとらえた、
犬の目線で語られる、全く新しい人類史！！

南方熊楠と日本文学

伊藤慎吾「著」

人文学黎明期に、熊楠は日本文学にどのよ
うな価値を見出し、学問に利用していった
のか？ 熊楠が研究の基礎とした近世随
筆・説話集、お伽草子や近世怪談などの資
料群を精査・貴重資料の翻刻も多数収録。

7000 円

この世のキワ

〈自然の内と外〉「アジア遊学 239」

3200 円

山中由里子・山田仁史「編」

「驚異」と「怪異」の表象を、ユーラシア大陸の
東西の伝承・史料・民族資料・美術品に探
り、「自然」と超自然の境界領域「この世」
と「あの世」の心理的・物理的距離感・境界に
立ち現れる身体・音・モノについて考察。

勉誠出版

〒101-0051 千代田区神田神保町3-10-2
TEL.03-5215-9021 FAX.03-5215-9025

WEBSITE=bensei.jp
E-mail=info@bensei.jp

表示価
税別